

事務事業評価シート

H27(標準事業)

①基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	04108-1	地球温暖化防止対策推進事業	室名	環境保全室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	会計	一般会計
	基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	財務	衛生費
②基本事項	基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	科	保健衛生費
	戦略プロジェクト	01:環境負荷の少ない社会の形成	目	環境衛生費

②目的・概要	対象	市民・事業者・行政
	目的	市域全体で、地球温暖化防止活動を実践することにより、市域の省エネ行動・省資源活動の実施率を引き上げ、二酸化炭素排出削減に努める。
概要	平成24年度まで運用していた「市地球温暖化防止対策地域推進計画」の理念を引き継ぎ、市民・事業者・行政が、それぞれまたは協働して、温暖化防止に関する意識啓発、実際の取り組みを促す。具体的には、環境活動ポイント制度(AKP)を啓発し、市民の省エネ行動・省資源活動への取組みを促す。また、各種イベントにてクイズ大会を開催し、参加者と一緒に学ぶ機会を増やしていく。なお、地球温暖化防止対策実行計画【区域施策編】の運用を行っていく。	

			27年度	28年度
①	名称	環境活動ポイント制度(AKP)等温暖化防止啓発に係るPR回数	計画値	
	補足	広報・ケーブルテレビ・説明会・イベントのブース開催数／訪問回数／郵送数	実績値	21 / 16 / 457
②	名称	環境活動ポイント制度(AKP)の参加者数	計画値	
	補足	クイズ大会等イベントへの参加者人数 ／環境活動ポイント制度(AKP)の取り組み世帯	実績値	6,090 / 334
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	

年度計画				年度実績			
④事業の計画・実績					【環境活動ポイント制度(AKP)】家庭での省エネ行動をポイント化し、集めたポイントとを環境にやさしい商品と交換することができる制度を継続 ○参加世帯(参加人数) 334世帯(917人) ○報告世帯 278世帯 ○発行ポイント 4,575,705ポイント 【地球温暖化対策一般】 ○里山公園「春のイベント」等、年間2回温暖化防止クイズ大会の開催 ○広報かめやまに環境コラムを3回掲載 ○みえ環境フェア2015、鈴鹿川の環境展、夏の鈴鹿川体験に参加し、温暖化防止を啓発 ○職員の温暖化防止に関するスキルアップのため、各種研修・講演会・セミナーへ参加		
	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	3,792
		事業費		3,238	2,804	一般職員人件費 ②	3,792
		国庫支出金				所要人員 ③	0.50
		県支出金				臨時職員人件費 ④	
		地方債				受益者負担額 ⑤	
		その他				受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額					
	再掲	前年度からの繰越額					
		総人件費		①	3,792		
	総コスト		⑥	6,596			

⑤事業の評価	【事業の成果】	「かめやま環境プラン」の重点的取り組み及び「地球温暖化防止対策実行計画【区域施策編】」に基づき、環境活動ポイント制度(AKP)を継続し参加を募った。本事業により、家庭での環境行動が評価され、見える化されることによって、市民の省エネ等に対するモチベーションが高まり、更なる環境行動へのきっかけづくりにつながった。また、各種イベントにおけるクイズ大会の開催、三重県主催の「みえ環境フェア」への参加など、様々な機会や媒体を利用して地球温暖化防止の啓発に努めた。	総合判定	B ままず進んだ
	【反省点・課題】	省エネを推進するためのきっかけとなる環境活動ポイント制度(AKP)事業を継続したことにより、市民の地球温暖化防止への取り組み意識は向上してきている。この事業に参加したことのない世帯にも広めていく必要がある。温暖化の情報は解釈が難しく、市民が理解を深められるよう、内容をより噛み砕き、興味が持てる情報として常に発信していくことを検討していく必要がある。		

⑤事業の評価	【改善の方向性】	AKPの事業をより多くの方に知っていただくように情報周知を行っていく。 AKPの事業で得た情報を総合環境研究センターとともに分析し、よりよい制度を構築していくように検討する。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切